

令和2年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<h4>1 一人一人の児童生徒の尊重</h4> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p>	<h4>2 友達への思いやり</h4> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<h4>3 道徳・心の教育の充実</h4> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）</p>
<p>【学校から】○今年度は、コロナ禍の中で、対面での指導ができない状況下で、タブレットや携帯等のICTを活用したコミュニケーションをとることで児童や家庭とつながることができた。さらに教員のスキルアップを図り、さらに充実した指導を行っていききたい。○友だちとなかよくしているかの問いについて、児童の回答に「2」「1」の割合が微増している。きずなアンケートの結果や日頃の子どもの間関係をさらに注視し職員間での連携を高め、つらい思いをする子どもがいないよう体制を整えていきたい。○本校の教育活動について、今後とも学校より様々なお知らせやお便りを、プリントだけでなくICTを活用し、より身近に感じてもらいたい。</p>		

②確かな学力を育む教育の推進

<h4>4 意欲的な学習態度</h4> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<h4>5 授業力向上</h4> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<h4>6 ICT活用</h4> <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p>
<p>【学校から】○授業力向上について、わかる授業、楽しい授業に関して、児童の「4」「3」の割合が上がっている。ICT活用をはじめ、授業実践を軸とした校内研修の成果と考えられる。ただし、「2」「1」の割合も存在する。より児童一人一人に合った授業形態や指導方法を工夫し、全ての子どもがわかる、楽しい授業をめざす。○子どもの学習意欲について、教職員は「4」「3」の割合が昨年度よりも上昇している。さらに教職員の授業力向上を図り、子どもたちのやる気を引き出していききたい。○ICT機器活用について、児童もその効果を実感している割合が高くなっている、さらなる充実を図りたい。</p>		

③健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり

子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

【学校から】○今年度はコロナ禍で、体育をはじめ外遊びなど、行動を制限されることが多かった。そのため、教職員の「4」に占める割合は低下している。制限がある中でも、効率的効果的な指導を行っていききたい。

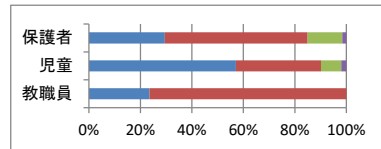
<h3>①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実</h3> <h4>8 児童生徒理解</h4> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとして努めていると思いますか。</p>	<h3>②特別支援教育の推進</h3> <h4>10 学校の支援体制</h4> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】○いじめや問題への対応について、子どもたちの「4」「3」に占める割合は、昨年度より増加している。アンケートや教育相談等上がった案件について、生徒指導部を中心に即対応したことの結果と考えられる。しかしながら、児童生徒理解について、一定数の児童が「1」の回答を行っている。誰一人取り残すことなく、学級が安心できる場所となるよう、児童一人一人を大切にしたい体制を整えていく。○特別支援教育の支援については、保護者と教職員の認識に大きな差があるとともに、保護者の「1」の割合が昨年度より微増している。職員全体で共通理解を図り、取組の様子についてさらに分かりやすく伝えていきたい。</p>	

<h3>①子どもたちの身近な安全対策の充実</h3> <h4>11 安全と事故防止</h4> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p>	<h3>②最適な学習環境の整備</h3> <h4>12 施設・設備の安全管理</h4> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>
<p>【学校から】○学校での安全教育をはじめ、本校では地域の方々による見守り隊など、地域一丸となって取り組んでくださる地域性がある。今後も、地域の方々との情報交換等を盛んに行い、家庭、学校、地域、一体となって取り組んでいきたい。</p> <p>【学校から】○月1回の安全点検を行い、修理等が必要な場所は即対応し、安全な学習環境を保っている。また、ボランティア活動を通して、学校内外の美化に取り組んだり、愛校精神を養う。</p>	

③家庭・地域社会との連携強化

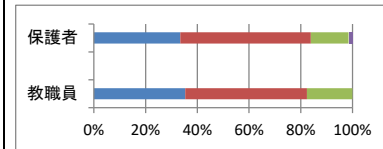
13 教育方針・目標の理解

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

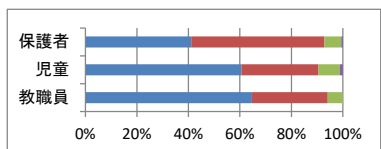


【学校から】○教育方針・教育目標について、今年度はPTA総会や学級懇談会等が中止となり、HPや紙面等でお知らせとなった。4月のコロナ禍の中で十分な周知ができたとは言えない。ICT機器活用の他、他の方法についても模索していきたい。○家庭や地域との連携協力については、昨年度と比べ割合での変化は見られないが、「1」の回答があることは見逃せない。家庭・地域への情報発信と丁寧な説明を行っている。

⑧本校の教育

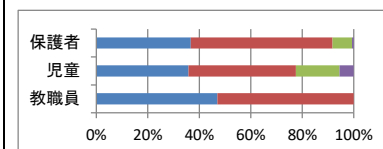
15 1

d学校は、「ありがとう」を言える感謝の心を持った児童の育成に取り組んでいると思いますか。



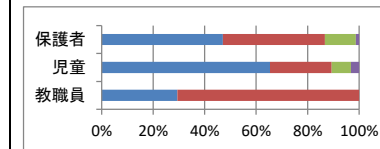
16 2

d学校は、授業の中で友達の意見を聞き、自分の思いや考えを言える児童の育成に取り組んでいると思いますか。



17 3

d子どもは、進んで体を動かし、外で運動していると思いますか。



【学校から】○感謝の言葉「ありがとう」が響き合う学校づくりを目指して、学校行事、学級経営、校内研修を通じて取組を行っている。今年度は、「ありがとうの手紙コンクール」において、学校賞をいただくことができた。家庭、地域へさらにこの取組を充実させていきたい。○自分の思いや考えを言える児童の育成については、校内研修において「児童一人一人が自分の考えや思いを表現することができる授業改善」を推進し、児童の表現直を支える力として、学級の居場所を感じられるような指示的風土を高めた学級経営力を高めていく。○学年に関係なく、外遊びに親しむ児童は多く時間を惜しんで活動する姿が見られる。さらに全員遊びや異学年での交流の場を設け、外遊びのバリエーションを豊かにしていきたい。

来年度の具体的な取り組みについて

- 一人一台の学習用端末の貸与により、ICT機器活用の幅はさらに広がる。充実した運用ができるよう校内研修等を通して、教職員のより一層のスキル力向上を行う。同時に、児童、教職員ともに、情報モラル教育を進める。
- 学校行事の精選をし、今年度の反省をもとにしてより家庭・地域への発信につながるような行事内容・運営・発信方法について検討を行う。
- 教育目標方針について、さらに学校だよりや、総会、地域との会合、学校ホームページ等、あらゆる場所に情報発信を行っていく。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のための、手洗い手指消毒や、マスク着用、三密をさけるなどの基本的な取組が、十分機能していくよう持続的かつ丁寧に指導をしていく。
- 「こころの教育」について、今般のコロナ禍の中で、人を思いやる心や自分にできることは何かを常に自分自身に問いかけることのできる人権教育を人権教育担当を中心にさらに進めていく。
- 学力検査結果より、児童の学力の分析を行い、学力向上に向けて研究主任を中心に進めていく。
- 体力テストの結果より、体育の授業での1単位時間における運動量、異学年交流による体力づくりを体育主任を中心に行っていく。

学校関係者評価

- 今年度はコロナ禍で、様々な学校行事が中止とならざるを得ない状況であったが、体育発表会では、三密をさけ、安全に配慮した会を開かれ、子どもたちの笑顔や一生懸命な姿を見ることができよかった。
- 学校ボランティアとして、今年度も低学年のサツマイモ作りを行うことができ、リースづくりなど体験活動を行うことができよかった。高学年においても、地域の方々と一緒にコメ作りを行い、貴重な体験をすることができよかった。
- コロナ禍の中で、活動に制限は生じたが、子どもたちの登下校の見守りを行うことができた。東区では不審者事案等が多発していることから、これからも学校・家庭・地域が一体となり、連携を密にとりながら子どもたちの安心安全を見守っていききたい。さらに、低学年においては、小学校周辺は交通量も多いことから交通ルールの徹底、自分の身は自分で守る意識を高めさせ、危険回避能力・危険予知能力を養う安全教育をさらに充実させてほしい。
- 熊本市では、学習用端末の一人一台貸与が始まり、さらにこれからの授業は様変わりをしていく。タブレット使用の際の、情報モラル教育や使用ルールを徹底させるとともに、これまでのように文字は丁寧に書くなどの従来の学習も大切にしていきたい。
- 気持ちのよい挨拶、「ありがとうございます」の感謝の言葉をこれからも大切に、人として常に感謝の気持ちや謙虚さをもった素直も子どもたちの成長に期待したい。